7月1日発行号から10月15日発行号まで、過去の紙面から8号分の一面を抜粋、読者の皆様と共に小紙の50年を振り返ります。第6回目は1981年10月1日発行の第100号です。

昭和56年／1981年
第100号 10月 1日発行

防衛ホーム

（昭和49年11月22日第三種郵便物認可）

発行所　防衛ホーム新聞社
東京都新宿区市ヶ谷本村町28―4
電　話（03）268―0711㈹
郵便振替口座　東京 7―52507番
〒162　毎月1・15日発行 1部60円

主な記事

2・3面　佐世保地方隊特集
6面　本紙百号記念特集
7面　論陣・東京地連25周年
9面　防衛の建軍30年
10・11面　家庭のひろば
13面　訓練いろいろ
15面　写真ニュース
17面　城のある旅
19面　手相拝見
20面　マンガ・テレビ
求職アンテナは4・5面

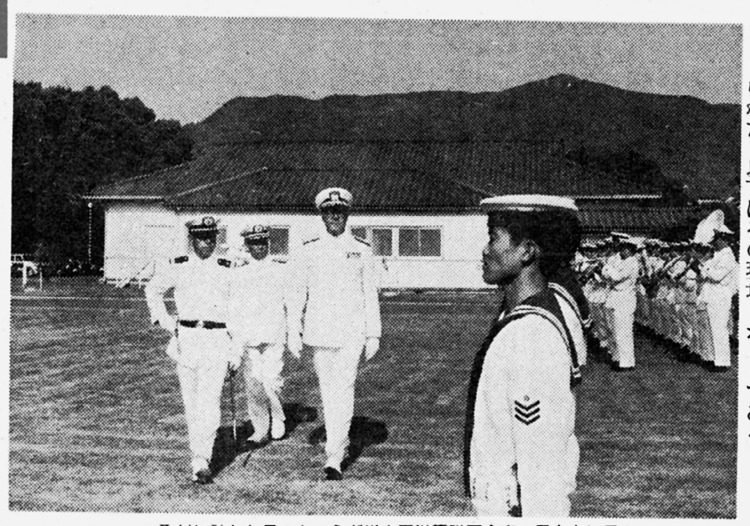
本紙創刊100号記念特集　6面

佐世保地方隊を訪ねて

市民に親しまれ、溶け込む

秋空がいっぱいに広がった海上自衛隊佐世保地方隊は、その澄み渡った青空を映すように、隊員たちの顔には精気がみなぎり士気は横溢していた。明治に鎮守府が置かれて以来の海軍の良き伝統が脈々と受け継がれている。市民も自衛隊をまるで〝親せきづき合い〟のように受け入れ、暖かい目で見守っている。こうした素晴らしい環境の中で、波頭騒ぐ対馬海峡を〝守備範囲〟に持つ西海の守り・佐世保地方隊は、緊張の中にも余裕すら感じられた。以下はその現地レポートである―。

（本紙取材班、牧・山添・中坪記者）



取材に訪れた日、ちょうど米太平洋艦隊司令官・ワトキンス海軍大将の一行が安陪総監を表敬訪問、儀仗隊を閲兵した

佐世保教育隊では、ちょうど55期初任海曹課程学生の修業式が行なわれ、101人の海の若者が先輩、後輩に送られて巣立っていった

〝西海の守り〟はまかせろ！

対馬海峡の荒波にきたえて……

朴とつな九州男児

長崎空港から特急バスで一時間ちょっと。佐世保市の中心街を抜けた小高い場所に海上自衛隊佐世保地方総監部がある。緑の木立に囲まれた構内。正門を入ったすぐ右手に鎮守府時代のレンガ造りの門の一部がそのまま保存されていて伝統の重みが伝わってくるようだ。出迎えてくれた広報係長・岡崎力一等海尉、安枝建次郎准尉の二人も、いかにも九州男児、海の男らしいキリリとした風ぼうと朴とつな人柄である。「佐世保ほど自衛隊が市民に溶け込んだ所は、ほかにないと自負しています。やはり海軍の伝統が生きているんでしょう」と岡崎一尉の第一声の通り、その後の取材を通じて常に感じ、体験したことは〝市民と自衛隊の一体感〟ということであった。

安陪祐三・佐世保地方総監

魚谷健博幕僚長

土気旺盛、若い隊員

安陪総監　どんな状況にも対応

「佐世保地方隊は海上交通網の交錯する地域を控え、とくに対馬海峡は戦略的な〝要〟である。常にこの点を肝に銘じ、厳しい訓練を通じて、どんな状況にも対応できる体制を確立することが大きな柱です」と安陪祐三・総監（海将）は柔和な表情の中にもきっぱりとその基本理念を語る。

同海峡は年間、ソ連軍艦が百七十回も通過する。二日に一回は必ずソ連船をまのあたりにするわけで、若い隊員も自然と緊張感は高まり士気も高まるという。

同時に安陪総監は「ことはまた自衛艦隊への後方支援も重大な任務です。歴代総監が築かれた基盤に、さらに力をプラスできればと規律の徹底など通じて努力しています」と言葉を続ける。そして「海上自衛隊に寄せてくれる佐世保市民の熱心な支援と協力が何よりの励みであり力ともなっています」と市民との素晴らしい協調関係を力説した。

●安陪祐三・佐世保地方総監部総監（海将）鳥取県出身、53歳

昭和27年入隊。潜水艦畑を中心に歩む。海幕防衛課長、呉地方総監部幕僚長、海幕調査部長、第二潜水隊群司令、潜水艦隊司令官を経て、今年七月から現職。

無趣味が趣味というが、海外の軍事関係の書物を読破。

自衛隊と共存共栄

佐世保市長　施設誘致に全力

佐世保市民は自衛隊を〝身内〟だと思っています。市民も市が自衛隊を応援しなければ承知しませんでしょう。市の経済も自衛隊へ依存する度合が高く、市の年間販売高の一割（三百五十億円）にも達しています。

〝海上自衛隊などと共存共栄を図る〟のが基本姿勢であり、市民経済への貢献度は将来増々高まるものと思います。

私の施策の柱は①産業振興②民生安定③教育・文化の向上――であり、具体的には全国規模、国際的な会議や集会も可能な三千人収容能力のある文化会館の建設、九州横断道路の延伸をはじめとする陸・海交通路の充実などあります。特に佐世保は昔から〝港を活用して生きて来た〟町であり、将来その重要性はさらに増大するはずです。この観点から自衛隊の誘致、とくに潜水艦隊基地の建設や第二術科学校（現在横須賀）の移転はぜひ実現してほしいものとなっています。市民の皆さんの自衛隊への理解と協力は、すでに定着していますが、さらに諸々の問題について自らの主体的判断と考えて、周囲に惑わされることなく対処されるようお願いする次第です。

桟熊獅・佐世保市長

2―3面につづく

1981年はこんな年だった！？

【おもなできごと】

1月　記録的な豪雪（1月～3月）
2月　日本初の新交通システム「ポートライナー」営業開始
2月　日本劇場閉館（48年の歴史に幕）
3月　神戸市で地方博覧会「ポートピア'81」開幕
4月　米スペースシャトル「コロンビア」打ち上げ成功
8月　作家向田邦子が航空機墜落事故で死去（台湾）
9月　（株）ファミリーマート設立
10月　常用漢字告示
11月　８年ぶりに観艦式。艦艇45隻・航空機55機参加。

【流行語】

・えぐい　（「スゴイ、カッコイイ」で使われるように）
・クリスタル族　（田中康夫「なんとなくクリスタル」）
・粗大ゴミ　（定年後に家でゴロゴロしている夫）
・んちゃ　（Ｄｒ.スランプ　アラレちゃん）
・なめネコ　（セーラー服やガクランを着た猫）

【ヒットソング】

・ルビーの指環／寺尾聰
・奥飛騨慕情／竜鉄也
・ハイスクール・ララバイ／イモ欽トリオ
・長い夜／松山千春
・恋人よ／五輪真弓